

御坊市では、市役所も消費者や事業者の一つであるという視点から、平成22年8月に御坊市役所第2次地球温暖化対策実行計画を策定し、地球温暖化の防止に向けた取り組みを行ってきました。

このたび、本計画の取り組み結果がまとまりましたので、お知らせします。

<温室効果ガス総排出量の削減目標>

本実行計画の温室効果ガス（温室効果をもたらす大気中に拡散された気体のこと）総排出量の削減目標は、令和2年度までに基準年度の平成22年度より**7%削減**させることです。

<本計画の取り組み結果について>

本市では、温室効果ガス排出量を基準年度比で7%削減を目標とし、クールビズや節電、燃料の削減など市役所全体で地球温暖化対策に取り組んできました。

本実行計画の最終年度である令和2年度の温室効果ガス総排出量は、1,776,240kg-CO₂で基準年度の平成22年度と比較すると、527,354kg-CO₂（22.9%）の削減となり、目標を超える削減率となりました。

排出量の大部分を占める電気使用量に係る温室効果ガス総排出量については、排出係数の影響もありますが、基準年度から着実に使用量の削減ができており、目標を超える削減率を達成することができました。

本計画は、令和2年度をもって終了しましたが、後継計画である第3次地球温暖化対策実行計画を、今後数年以内に策定し、市の施設における燃料や電気などの使用量を削減することにより、温室効果ガス排出量を削減し、地球温暖化防止に努めてまいります。

◇温室効果ガスの総排出量（基準年度との比較）

項目	平成22年度	令和2年度	削減率 (%)
温室効果ガス総排出量 (kg-CO ₂)	2,303,594	1,776,240	22.9
うち電気使用量に係る温室効果ガス総排出量 (kg-CO ₂)	1,980,496	1,478,929	25.3
排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	0.355	0.318	—

※排出係数とは…

使用したエネルギーから温室効果ガスを算定するために用いる係数（原単位）で、発電に用いた燃料によって異なり、特に火力発電の場合、排出係数は高くなる。令和2年度は、関西電力（株）の令和元年度実績に基づく排出係数（0.318kg-CO₂/kWh）を採用している。

◇活動区分別の使用量（基準年度との比較）

項目		平成22年度	令和2年度	削減率 (%)
燃料使用量	ガソリン・軽油（単位：L）	54,242	43,174	20.4
	灯油・LPG（単位：L）	33,892	28,895	14.7
電気使用量（単位：kWh）		5,578,863	4,650,721	16.6
自動車の走行量（単位：km）		613,742	390,813	36.3